

AGENDA

淡路夢舞台国際会議場ニューズレター

2005

秋 号

VOL.22

平成17年10月発行
兵庫県立淡路夢舞台国際会議場
兵庫県淡路市夢舞台1番地
電話 (0799) 74-1020
FAX (0799) 74-1021
<http://www.yumebutai.org>
otoiawase@yumebutai.org



日あたりや
熟柿の如き
心地あり

漱石



実りの秋

夢舞台国際会議場で
実りある会議を・・・

8月 学生ボランティア 国際大会開催

国内外より学生ら
約400人が夢舞台で
交流

今夏も世界各国から
あらゆる分野の研究者
が参集



江の秋や
釣りの綸から
暮れかかる

露伴

写真上一 柿の老木（洲本市）

写真中一 畦道のススキ（淡路市）

写真下一 野池の夕暮れ（洲本市）

撮影 松林 眞弘

開催を終えて

第22回日本眼循環学会

22-23 Jul. 2005

海で囲まれた淡路島で
ノーネクタイの自由な雰囲気の中、
眼循環の未来を語ろう



交通が若干不便なため、どの位の参加者があるか心配していたのですが、全国から予想を超える約440名の参加があり、大変盛会になりました。本会は、眼球の血流の生理・薬理的研究と、糖尿病網膜症や加齢黄斑変性など失明に繋がる病気の血管の状態を造影検査で診断し、病態や治療方法を研究する学会です。メインホールは、スクリーンの位置が低めで見易く、椅子の前後間隔を広くにするなど細かい配慮を頂きましたので、質問もしやすく、議論が盛り上がりました。風光明媚な淡路島は、関西の蒸し暑い夏を楽しむにはぴったりで、懇親会は日本丸のディナークルーズとし、200名が参加しました。幸い4日前に梅雨があけ



賑わうポスター会場

ましたので天候にも恵まれ、気持ちの良い風の中、美味しいワインと名物の蛸など頬張りながら、ライトアップされた明石大橋を下から眺めるという最高の気分を味わいました。初めての学会主催を成功裡に終えることができ、小生には一生の思い出になりました。当初から親身に助言を下さった夢舞台の枚田様を始め、会場スタッフの方々、ホテルの関係者の皆様には心よりお礼を申し上げます。



淡川キリスト教病院眼科

張野正 啓

第23回半導体中の欠陥に関する国際会議 (ICDS-23)

24-29 Jul. 2005

第3回半導体スピントロニクスと量子情報技術に関する国際スクールおよび国際会議 (SPINTECH III)

1-5 Aug. 2005

ICDS-23は半導体中の不純物や欠陥の物理学に関する基礎的なチュートリアルと国際会議(参加者:300名、参加国:29カ国、発表論文数:354)であり、現在の情報技術(IT)を支えるシリコン半導体や窒化ガリウムなどのワイドギャップ半導体ベースの短波長レーザー技術の基礎を支え、50年近く続く地味な基礎分野です。デバイス応用には不純物や欠陥の電子状態の解明と制御が不可欠であり世界的なレベルでの活発な研究が進んでいます。一方、SPINTECH IIIはシリコン半導体技術の限界を超える20年後の次世代エレクトロニクスとして有望な電子の持つ電荷に加えてスピンという量子力学的な自由度を同時に制御する新しいクラスのエレクトロニクスの開



大阪大学
産業科学研究所 教授

吉田 博

第6回ヘテロ構造 マイクロエレクトロニクス 国際会議 (TWHM2005)

22-25 Aug. 2005



パンケットで信じられない光景が出現しました。外国人40名を含む約130人の出席者全員が立ち上がって楽しそうに踊っている。リズムは阿波踊りですが、姿は空手のような人もいました。

ITの時代にわざわざ海外から人を集めて会議をする意味は、単なる情報交換以外の、参加者間の友好や友情の形成にあると思います。その点、夢舞台の環境は好都合です。近くにコンビニ、レストランはありません。そこで、朝食と昼食は参加者専用のビュッフェ形式にしました。これらにより初対面の参加者同士でもスムーズに会話が始まりました。参加者専用の部屋を確保したバーでは、夜遅くまでホットな議論が続いていました。また、エクスカーションでは、たくみな英語の解説で人形浄瑠璃を満喫し、渦潮観潮船の上で会話が弾みました。そして、あのパンケットへ至ったわけです。

“この会議場はすばらしい”、“この会議の雰囲気は好きだ”、というコメントをわざわざ言いに来てくれた人が何人も居ました。主催者として肩の荷が下がる思いです。会議場やホテルの方々から頂いた数々のアドバイスを感謝いたします。

さて、会議の内容はというと、超高速高出力半導体デバイスの研究開発に関する会議です。これまでこの会議で議論されたデバイスが携帯電話やインターネットで使われるようになっていきます。今回議論されたデバイスも、将来みなさんの周りで使われるであろうと信じています。



TWHM2005実行委員長
徳島大学工学部 教授

大野 泰 夫

拓を目的とした半導体スピントロニクスおよび量子情報技術に関する国際会議と国際スクール(参加者:250名、参加国:22カ国、発表論文数:212)です。両国際会議ともに、会議施設、宿泊ホテル、レセプション、パンケット、エクスカーション、昼食弁当、夕食、および、運営等について、大変好評であり、多くの参加者から、身に余る沢山のお褒めの言葉をいただきました。国際会議場およびホテルスタッフの皆様方に両国際会議の組織委員会を代表して心よりお礼を申し上げます。



ICDS-23



SPINTECH III

8月27日(土)・28日(日)に開催された「学生ボランティア国際大会」には、災害救援、環境保護、国際協力、社会福祉などの分野で活躍する国内外の大学生、高校生、海外のNPO関係者ら約400人が参加。マラソンランナーでNPOハートオブゴールド代表の有森裕子さんは、記念対談・分科会で、ご自身のボランティア活動を熱く語りました。島内からも3高校の生徒が出席し、ボランティア団体が提供する、学生が主体的に参加できる国内・海外の活動情報に熱心に耳を傾けました。参加した学生たちは、自身の活動報告、抱える問題、今後のあり方などについての活発な意見・情報交換を通して交流し、新たなネットワークづくりに成果を上げました。

2005年10月～2006年3月開催予定の主な会議一覧

会 議 名	主なお問い合わせ先
10月 細胞核機能の分子スイッチRanと細胞周期 The 8th Meeting of the Immunology of Diabetes Society (IDS-8) Information Theory Workshop 2005 (ITW2005) 第2回日韓データベースワークショップ 「機能と構成」第11回領域会議 第29回全国育樹祭育林技術交流集会 「タンパク質の一生」国際会議	大阪大学大学院生命機能研究科 大阪医科大学第一内科 東京大学生産技術研究所 京都大学大学院情報学研究所 独立行政法人科学技術振興機構 兵庫県農林水産部農林水産局全国育樹祭室 京都大学再生医科学研究所
11月 2005国際ビタミン・補酵素・バイオフィクター会議 レドックス生命科学研究会 第5回国際3R(複製、組換え、修復)シンポジウム 平成17年度あしたのくらし・ふるさとづくり全国フォーラム in 兵庫 ITあわじ会議 バイオメディカルベンチャー創出を目指した若手交流会 国際景観園芸フォーラム	大阪医科大学医学化学教室 産業技術総合研究所ヒューマンストリニナル研究センター 大阪大学大学院生命機能研究科 (財)あしたの日本を創る協会 兵庫県産業労働部産業科学局新産業担当課 大阪大学大学院工学研究科 (財)淡路花博記念事業協会
12月 第4回日本肝臓学会シングルトピックカンファレンス COE/JEPA Joint International Conference CREST Nano-Virtual-Labs Joint Workshop on Superconductivity (CREST-NVLS-2005) 第1回 TOSS W木村塾 In 淡路 大阪電気通信大学越川研究室研究発表会	近畿大学医学部消化器内科 神戸大学大学院経済学研究科 大阪府立大学大学院工学研究科 TOSS淡路キッツキ 大阪電気通信大学
1月 第5回DM・Educator勉強会 ～夢舞台meeting～	大阪糖尿病協会顧問医会
2月 第3回伴一孝ドリーム講座 in 淡路 嚥下障害に関する特別講演会(仮称) 淡路青年経済人会議 赤ちゃんの幸せのための第4回アメリカ・中国・日本3ヵ国国際学術会議 3月 日独放射線医学交流計画第13回ワークショップ	TOSS淡路キッツキ 兵庫県立淡路病院 淡路地区商工会青年部連絡協議会 アプリア育児研究会 日独放射線医学交流計画事務局

※上記は都合によりキャンセル・変更される場合があります。

6月～9月に開催された主な会議

LIBRARY



ショウジョウバエ研究会
第7回研究集会 [6月]



画像の認識・
理解シンポジウム [7月]



International Symposium on Biological
Membrane Transport 2005 [8月]



第6回アジア太平洋
フォーラム・淡路会議 [8月]



第6回癒しの環境研究会
全国大会 [8月]



日本災害看護学会
第7回年次大会 [8月]



第5回あわじしま
感染症・免疫フォーラム [9月]



特定領域研究「生体超分子の
構造形成と機能制御の原子機構」
第1回ワークショップ [9月]



The 2nd Yamada Symposium on
Key Natural Organic Molecules in
Biological Systems [9月]

淡路花祭2005秋

好評開催中!

～11月6日(日)～

淡路夢舞台

- 奇跡の星の植物館～秋色ガーデンショー～
- プロムナードガーデン～風そよぐ秋色ガーデン～
- 百段苑～秋の装い～
- ウォーターガーデンショー

淡路島国営明石海峡公園

- コスモスによるイベントが満載

北淡路の見どころ・花どころをお得に巡る

花バス運行中! 1日乗車券 **1,000円**

開催に寄せて

第4回日本肝臓学会 シングルトピックカンファレンス (肝細胞癌に関する国際シンポジウム)

2-3 Dec. 2005

肝細胞癌は日本人の死因の第3位を占め、なお増加傾向にある悪性腫瘍である。この肝細胞癌に対する診断・治療については世界において日本が常に主導的な役割を果たしてきた。現在、世界的にみてもC型肝炎の感染者はスペイン、イタリアを中心とするヨーロッパ、更には北米にまで爆発的に拡大し、それによって引き起こされる肝細胞癌もまた急激に増加傾向にある。すなわち肝細胞癌は今まさに世界的に大きな問題となってきているのである。我が国では欧米に先んじること約50年前から肝細胞癌(当時はB型肝炎による肝癌)を数多く経験し、現在ではC型肝炎の時代へと変遷してきている。その結果、必然的に多くの臨床家・研究者がこの分野で先駆的業績をあげ、肝細胞癌の予防・基礎・診断・治療に関しては日本は世界のリーダー的立場にあると言っても過言ではない。この会議ではヨーロッパ、アメリカから主だった肝細胞癌の研究者20名を招き、さらにはアジア諸国からも肝細胞癌の研究者約50名、日本から約300名に参加して頂き、肝細胞癌の診断・治療に関する世界的コンセンサスを得るための議論を行うことを目的としている。また会議の前日の12月1日にはpremeetingも企画している。この両会議における発表成果は世界的な医学誌であるOncology誌やHepatology Research誌に特集号として発刊が予定されている。



組織委員長
近畿大学医学部消化器内科 教授

工藤正 俊

COE/JEPA Joint International Conference

17-18 Dec. 2005

日本経済政策学会は第4回国際会議を神戸大学21世紀COEプログラムと共催で淡路夢舞台国際会議場にて開催することになった。メインテーマはTowards a New Economic Paradigmで、労働市場の適応問題を中心に各国、各地域が直面する課題について、最先端の研究結果が報告される。すでに30カ国を超える国々の第一線の研究者から多数の報告申し込みが寄せられ、12月17、18日の会議に内外の関心が高まっている。日頃グローバル化を論じ、国際派をもって任ずる会員も多い我が学会の国際会議が第4回と歴史の浅いことを、意外に思われる向きもあるかもしれない。実際私自身もかつては、外国にでかけて学び、優れた研究成果は欧米で発表するというスタイルにあまり疑問を抱かなかった。しかしとりわけ現実の政策に関わる分野では、個人レベルではともかく、学界として研究を盛んにするとすると「でかけていく」だけでなく、来てもらって研究を交換する関係を築くことが効果的である。多少背伸びをしても、実りある成果のためにはと決定した会議場選びが功を奏し、豪華な顔ぶれの講演やハイレベルの報告に相応しい魅力的な会議を演出できそうである。100名を超える海外の研究者を招き、国際親善に果たすところも大きいと、淡路夢舞台国際会議場の効果を少し横取りして自負している。



日本経済政策学会会長
神戸大学 教授

丸谷 冷 史

阪神・淡路大震災10周年記念事業

2005 International Students Volunteer Summit in HYOGO

学生ボランティア国際大会



お立ち寄り お薦め スポット

淡路大磯アート山

国際会議場から樹木の茂る遊歩道を歩いて7分、青空が開けたかと思う目の前に現れる白い帆船の形をした建物…。淡路大磯アート山は、淡路島出身の洋画家 大石可久也・鉦子夫妻が自宅周辺の美しい山と海と緑の中にアートを表現しようと構想を抱き、自身の情熱とボランティアの協力で、うっそうと茂った雑木林の草刈からスタートし創りあげた手作りの芸術空間です。白い箱船をモチーフにしたメインギャラリーでは大石画伯の作品約250点が入れ替わりに展示され、光と風が入りこむ窓からは大阪湾の絶景を楽しむことができます。

手作りの遊歩道には古瓦や廃材で手作りしたオブジェが点在し、雑木林の緑と融合。まさに芸術と自然が一体となった美術館です。時にはコンサートや講演会も開かれ、まちづくりの拠点になりつつあります。夢舞台滞在中のフリータイムにぜひお立ち寄り下さい。

開館時間: 10時～17時
休館日: 月曜日(祝日の場合は翌日)
入場料 大人500円、15歳以下無料
Tel: 0799-74-5565



世界から、日本から、快適アクセス

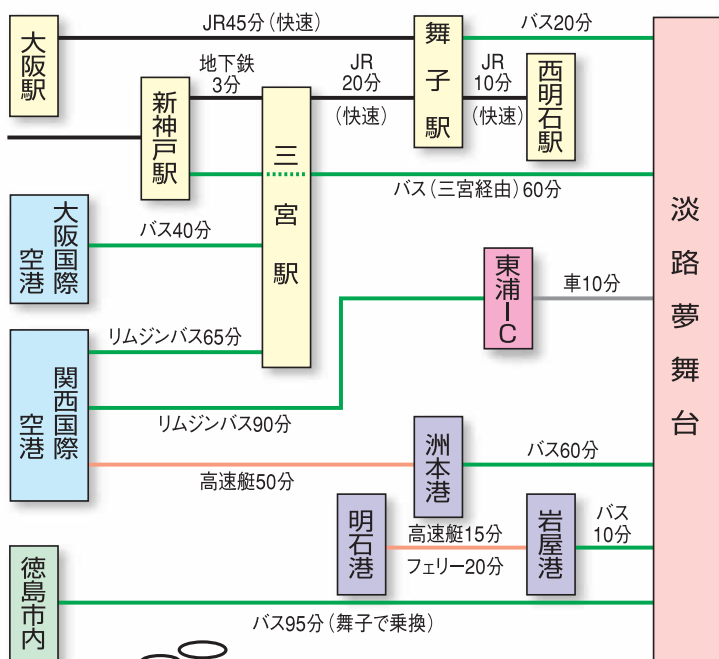
明石海峡大橋を経由し、車で大阪から60分、神戸から30分
(淡路I.C.、東浦I.C.から車で5分)

交通アクセス



運賃、時刻表等、詳細はHPをご覧ください。
▶ <http://www.yumebutai.org>

公共交通機関



洲本港—関西国際空港間高速艇の 往復料金がお安くなりました!

洲本港—関西国際空港を結ぶ高速艇「洲本パールライン」の大人往復運賃が9月1日から従来より 770円安い **4,000円** となりました。

ご利用料金(税込)

会議室名称	面積 (㎡)	利用料金(円)		
		9時～12時	13時～17時	9時～17時
メインホール	580	90,000	120,000	209,000
イベントホール	481	75,000	100,000	174,000
アンフィシアター	275	45,000	60,000	105,000
ホール	A	127	22,000	30,000
	B	258	44,000	58,000
会議室	311	179	15,000	20,000
	301	173	15,000	20,000
	405	91	8,000	11,000
茶室	A	90	18,000	24,000
	B	10	3,000	5,000
合計(全館利用)		407,000	539,000	927,000

※他に会議室・討議室・控室等18室を4,000円(9～17時)から
ご用意しております。

ご利用にお得な制度

▶(財)兵庫県国際交流協会の国際会議開催助成金

●以下の要件を満たす国際会議に、500万円を限度として開催総経費の10%以内を助成します。

- ①開催日程3日以上
- ②参加国は日本を含め5カ国以上
- ③国外参加者の比率が20%以上

●その他の国際会議には、200万円を限度に開催総経費の5%以内を助成します。

※助成金には年度枠がありますので、枠を超えると交付できない場合もあります。

※この他、一定の条件を満たした会議等について、無利息の貸付金制度もあります。

▶(財)中内カコンベンション振興財団の助成金

兵庫県内で開催される国際・国内会議や、それに付随する展示会・見本市への助成金の交付と開催準備金の貸付を行っています。上記、助成金・貸付金制度との併用も可。

詳細は同財団へ。TEL 078-303-8111

▶「ウェスティンホテル淡路」ご利用時の コンファレンスレートについて

国際会議場での会議を伴う宿泊(15名様以上)にご利用いただける同レートにより、「ウェスティンホテル淡路」の宿泊料が最大で通常の50%を超える割引となります。

(祝祭日、特定日を除く日曜日から金曜日に適用)

あ と が き

淡路夢舞台を囲む灘山の木々の葉も色づき、秋の気配がいよいよ濃くなってまいりました。陰暦では10月のことを神無月といいますが、これは神話に由来し、神々が出雲大社に集まり諸国を留守にする月のことをいいます。さて、淡路は「神話の島」でもあります。「古事記」「日本書紀」に記される「国生み神話」によると、神代の昔、国土創世の時に、国生み・神生みの夫婦神、伊弉諾命(いざなぎのみこと)、伊弉冉命(いざなみのみこと)の二神が最初に生んだのが淡路島とされています。そして、すべての神功を果たされた伊弉諾命が最初にお生みになった淡路島の多賀の地(旧一宮町)に幽宮(かくりのみや)を構えて余生を過ごしたと記されており、現在この地に鎮座する伊弉諾神宮では二神をお祀りしています。他にも、南あわじ市にある天の浮橋や芦原の国、おのころ島神社、論鶴羽山、天の御柱といわれる沼島の上立神岩、おのころ神社、洲本市の先山、淡路市の絵島など、国生みに関する伝承は島内の随所に残されています。秋の夜長、「国生み神話」に彩られた古代ロマンめいた淡路島で、古典文学に触れてみてはいかがでしょうか。(爲後順子)



伊弉諾神宮パンフレットより